

第2回北神・三田急性期医療連携会議の概要

1 開催日

令和2年2月6日（木）

2 出席者

区分	役職	氏名（敬称略）
三田市	三田市民病院 院長・事業管理者	荒川 創一
	三田市参事（三田市民病院副院長）	米田 義正
	三田市市長公室長 （三田市民病院事務局次長）	喜多 充宏
済生会兵庫県病院	済生会兵庫県病院院長	山本 隆久
	済生会兵庫県病院常務理事兼事務局長 済生会兵庫県病院管理局長	佐藤 二郎
	済生会兵庫県病院事務部長	前出 恭宏
神戸市	神戸市保健福祉局長	小原 一徳
	神戸市保健福祉局健康部長	熊谷 保徳

3 議 題

- (1) 済生会兵庫県病院の取組状況等について
- (2) 三田市民病院の取組状況等について

4 概 要

(1) 済生会兵庫県病院の取組状況等について

- ① 済生会兵庫県病院の現状・課題
⇒ 医師の確保、施設・設備・医療機器の老朽化、厳しい経営状況
- ② 課題解決に向けたこれまでの取組
⇒ 初期臨床研修病院基幹施設認定、院内保育所開設（※病児保育含む）
医師修学資金貸与制度創設（※三田市民病院と共同実施）
- ③ これまでの取組から見える課題等
⇒ 新専門医制度の導入以降、初期研修を終えた研修医が後期研修にあたり
他院に移籍せざるを得ない例があることや働き方改革への対応が必要と
なることから、一層医師確保が困難
- ④ これからの取組
⇒ 三田市民病院と外来・手術などの機能分担や相互応援を行うなど、両院の
人材を有効に活用し、医療機能の維持・向上に取り組むことが出来ないか
課題解決に向けた検討を進める。

(2) 三田市民病院の取組状況等について

- ① 三田市民病院の現状・課題
⇒ 医師の確保、施設・設備・医療機器の老朽化、内部留保資金の枯渇
- ② 課題解決に向けたこれまでの取組
⇒ 初期臨床研修病院基幹施設認定、院内保育所開設
医師修学資金貸与制度創設（※済生会兵庫県病院と共同実施）
- ③ これまでの取組から見える課題等
⇒ 新専門医制度の導入により、初期臨床研修を終えた研修医が後期研修にあたって他院に移籍せざるを得ない状況が見受けられることから依然として医師確保が困難
- ④ これからの取組
⇒ 済生会兵庫県病院と外来・手術などの機能分担や相互応援を行うなど、両院の人材を有効に活用し、医療機能の維持・向上に取り組むことが出来な
いか課題解決に向けた検討を進める。